

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 1	産業観光課

事務事業名	臼杵市漁業担い手支援事業	新規・継続・単年	新規
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-21	安定的な水産業経営の充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	将来の水産業を担う人材を確保・育成のため。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	漁業就業者の確保を目的に、新規就業を検討される方が円滑に漁業に従事できるよう、就業初期段階における資金の給付を行い、また現在漁業に従事している若手漁業者には継続して事業を行えるよう、漁具等購入資金を補助し、漁業の事業継続を図りました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	若手漁業者事業継続支援事業実績人数	申請件数	件	-	-	-	8	-
②	若手漁業者事業継続支援事業交付金額	交付金額	千円	-	-	-	1,327	-
③	漁業担い手育成交付金事業実績人数	後継者・新規就業者の人数	人	2	-	-	-	1
④	漁業担い手育成交付金事業交付金額	交付金額	千円	2,200	2,400	1,400	-	1,740

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	漁業者一人あたりの平均交付金額(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	交付金額÷申請件数				
	1,400	1,327	内容	補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			1100.0	-	-	165.8	870.0

事業対象	漁業就業予定者及び大分県漁協青年部臼杵支部に所属する若手漁業者	今年度の成果	若手漁業者8名に漁具等購入資金の補助を行いました。漁業の担い手が継続して就業できる環境を整えました。
------	---------------------------------	--------	--

成果指標	指標名	大分県漁協青年部臼杵支部に所属する人数					単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	大分県漁協青年部臼杵支部名簿						R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	青年部の人数を設定することで、若手漁業者の推移が把握できるため。					人	21.00	21.00	20.00	18.00	20.00

評価	有効性	効率性	評価の理由		
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	若手漁業者事業継続支援事業については、8名から申請があり、漁業の事業継続が図られましたが、漁業担い手育成交付金事業交付金を活用した新規就業者・漁業後継者はいませんでした。将来の水産業の人材の確保・育成を図るため、本事業は継続して事業実施する必要があると考えます。また、大分県漁協に若手漁業者事業継続支援事業の窓口を担ってもらうことで、漁業者との調整にかかる事務が軽減されました。		

事業の問題・課題	新規就業者・漁業後継者の確保をするとともに、市外からの新規就業者に対する受け入れ態勢が整っておらず、指導者の確保や住居など、生活面でのサポート体制の確立をする必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	新規就業者確保のため関係者とともに漁業就業フェアへの継続した参加を検討します。また、漁協臼杵支店及び県と指導者の確保や指導方法の確立等、受け入れ態勢や指導者とのマッチング・サポートについての協議を重ねていくとともに、住居の紹介など移住支援部署との連携も図っていきます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	やや遅延	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 2	産業観光課

事務事業名	食文化創造都市推進事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	多くの市民や事業者、民間団体などが本市の食文化を理解し、自主的かつ継続的に食文化関連イベントを開催する	
	関連施策名(施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現
		V-15-32	市民の文化・芸術活動の活性化及び伝承

事業内容(経緯)	本市の持続的な発展のためには、食文化を核とした産業の振興を図る必要があります。この事業は、臼杵食文化創造都市推進協議会が行う、本市の食文化の振興に資する各種取組に要する経費を負担するものです。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	食文化関連イベントに参加した人数	協議会や民間団体等が行った食文化関連イベントに参加した人数	人	-	4052	5952	6863	7595
②	食文化創造都市関連として交流や連携した海外の都市数【累計】	食文化創造都市関連として交流や連携した海外の都市数	都市	-	-	4	6	10
③	国内ユネスコ創造都市との交流	国内ユネスコ創造都市10都市との交流事業数	回	-	-	5	7	5
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	食文化関連イベント参加者1人あたりの食文化創造都市推進事業コスト				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費/イベント参加人数			
	16,717	20,953	内容	食文化創造都市推進事業費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源+過疎債		-	-	2808.6	3053.0	4952.6

事業対象	市民	今年度の成果	臼杵食文化創造都市推進協議会が行ったシビックプライドの醸成や情報発信、消費拡大等に関する事業などについて支援しました。また国内外創造都市との交流や情報共有等を積極的に行いました。
------	----	--------	---

成果指標	指標名	食文化関連イベントに参加した人数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	協議会や民間団体等が行った食文化関連イベントに参加した人数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	広く市民等に食文化への理解や、行動につなげるため参加者数を指標とする		人	-	4,052.00	5,952.00	6,863.00

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	多くの市民や事業者が各取組みに参加し、シビックプライドの醸成を図ることができましたが、産業の発展につなげるためには、参加だけでなく、主体的な取組みの広がりが必要です。	

事業の問題・課題	より多くの市民や事業者、関連団体などが連携し、民間主体で食文化に係るイベントなどの取組を行うことが必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	臼杵食文化創造都市推進プランの策定検討や、実施イベントに多くの市民が参画し、目指す方向性を共通認識する必要があります。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
E - 3	産業観光課

事務事業名	臼杵市産業・雇用促進事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-10-17	工場企業の育成・企業誘致	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	付加価値額向上が見込める事業の選定について、審査会における精度の向上が必要です。(本市における中小企業の成長促進及び市民の積極的な雇用促進を図ることを目的とします)		
	関連施策名(施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化	

事業内容(経緯)	市内で1年以上事業を営む中小企業者に対して、3年後に9%以上の付加価値額の向上が見込める設備投資(雇用に係る経費を含む)に補助金を交付しました。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	補助事業採択申請件数	本補助事業への採択申請件数	件	-	-	18	19	20
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	補助金の交付決定額				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	1事業者あたりの補助金交付決定額(千円)			
	15,247	12,277	内容		数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源			-	-	1,173	877	1,000

事業対象	市内において1年以上製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業を営む事業所を有する中小企業者	今年度の成果	本事業において、19件の申請があり、市内事業者による付加価値額向上が見込める設備投資等の案件に対して、14件が採択されました。				
------	--	--------	---	--	--	--	--

成果指標	指標名	補助事業採択決定件数【累計】			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	本補助事業の対象者として採択決定した件数【累計】				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	付加価値額向上が見込める設備投資等の件数を把握することで、産業振興に係る支援を数値化するため。			件	-	-	13	27	40

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	本事業に採択された事業者は、設備投資等により3年後に9パーセント以上の付加価値額向上が見込める事業計画を有しているため、本事業の目的である中小企業の成長促進及び雇用促進が見込めます。また、補助金の交付事業者に対し、3年間にわたり1年ごとに事業状況報告書を徴求し、付加価値額の伸び率を確認しています。				

事業の問題・課題	事業採択に関して、付加価値額向上が見込める事業の選定について、審査精度に改善の余地があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	書面での外部審査から変更して、審査会の中に事業者による事業計画の詳細を説明する場を設けることで、効果的な補助事業に取り組みます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 4	産業観光課

事務事業名	空き店舗等総合支援事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化
	施策の課題(事務事業の実施目的)	空き店舗バンクの成約件数の増加に伴い、登録物件が減少しており、空き店舗の物件数が限られていることが課題です。(中心市街地の賑わい創出及び地域経済の活性化を目的とします)	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	本補助金の対象区域内に位置する空き店舗を活用して、商店街等の賑わい創出に繋がる事業を実施した事業者に対し、補助金を交付しました。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	空き店舗等総合支援事業相談件数	相談件数	件	6	6	8	12	6
②	空き店舗バンクへの登録件数	登録件数	件	0	0	5	9	5
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	補助金の交付決定額					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	1事業者あたりの補助金交付決定額(千円)				
	1,810	3,883	内容		コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源				900	850	453	647	600

事業対象	事業者	今年度の成果	空き店舗活用の実績は、令和2年度から増加傾向が続いています。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後、事業者の事業意欲が回復したことで、過去4年間では最多となる6件の事業採択になりました。
------	-----	--------	---

成果指標	指標名	補助金交付件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	補助金交付件数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	補助金交付件数を把握することで、中心市街地の賑わい創出及び地域経済の活性化に係る支援を数値化するため。		件	2.00	3.00	4.00	6.00

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A;期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A;効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	本補助金の活用により、商店街エリアを中心に新たな店舗が出店することで商業機能の向上及び、空き店舗の減少による街並みの景観維持や賑わい創出に繋がっています。また、民間資本の活用により、行政での維持管理と比較すると、効率的に成果が出ています。				

事業の問題・課題	空き店舗バンクの成約件数の増加に伴い、登録物件が減少しており、事業者の多様な要望に沿える空き店舗物件を確保する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	空き店舗バンクに登録していない空き店舗の所有者等に対して、空き店舗バンクへの登録を促し、利用希望事業者への周知を図り、中心市街地の活性化に繋げる取組を強化します。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
E - 5	産業観光課

事務事業名	創業支援事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	若年層の創業者が少ないため、創業機運を高めるためにも積極的な情報発信が必要です。(創業希望者に対する創業時に必要な基礎知識の習得および創業者の成長促進を目的とします)		
	関連施策名(施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化	

事業内容(経緯)	創業希望者等を対象とした創業支援事業計画に基づく特定創業支援事業(創業支援セミナー)を開催しました。また、様々な経営課題(人材育成、資金調達など)を抱える創業後5年未満の事業者に対して、創業支援の専門家による個別相談を実施しました。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	創業支援セミナー開催回数	創業支援セミナー開催回数	回	2	2	2	2	2
②	創業支援セミナー参加人数	創業支援セミナー参加人数	人	10	19	13	19	19
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	創業支援セミナーの開催経費					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	創業支援セミナーの1回あたり開催経費(千円)				
	3,460	1,529	内容		コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源				250	250	250	248	248

事業対象	創業者及び創業予定者	今年度の成果	本年度の創業支援セミナーは合計19名が参加し、新事業の創業フォローアッププログラムの利用者は10名となりました。創業の機運醸成を図るとともに、創業後の創業者へのアフターフォローを強化しました。
------	------------	--------	--

成果指標	指標名	創業フォローアッププログラムの利用者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	創業フォローアッププログラムの利用者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	創業者へのアフターフォローや創業者の成長促進に係る支援を数値化するため。		件	-	-	-	10.00

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	創業支援セミナーの実施により、創業に対する動機付けや潜在的創業者の裾野拡大ができました。また、創業フォローアッププログラムによる創業支援専門家による創業者への個別相談により、創業者の創業後の経営課題の解決に繋がりました。	

事業の問題・課題	安定した創業者数の確保(特に若年層)が課題であり、各支援策の参加者や利用者の増加を図るため、商工会議所・商工会と連携した上で積極的な情報発信による周知をしていく予定です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	人口減少・高齢化に伴う事業者の廃業等によって、中心市街地の空洞化や地域経済の維持が問題になっており、一定水準の創業者数の確保による商工業振興を図るため、創業支援セミナー及び創業フォローアッププログラムの支援を継続していきます。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
E - 6	産業観光課

事務事業名	ブランド開発支援事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	「うすきの地もの」の情報発信および「うすきの地もの」の販売店確保が課題です。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	本市の農林水産物等の地域資源を活用した安心安全で魅力ある特産品の開発、加工、販売や販路拡大などの主体的な取り組みを支援することにより、特産品のブランド化、地産地消の促進等地域産業の活性化を図ります。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	新商品開発の個数	新たに研究開発された試作品及び商品の個数	個	2	4	2	2	10
②	外部講師によるセミナーの実施回数	加工食品についてのセミナーの実施回数	回	-	-	-	-	3
③	外部講師によるセミナーへの参加事業者数	加工食品についてのセミナーの参加事業者数	事業者	-	-	-	-	40
④	認定商品を販売する事業者の商談会への出展件数	市が参加する商談会への出展件数	事業者	4	5	-	-	10

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	ブランド開発支援事業にかかる支出					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	新規1認証品あたりにかかる経費(千円)				
	2,272	685	内容		コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			330.0	1219.0	455.0	63.0	167.0

事業対象	農林水産加工等を行う組織、食品加工業者など	今年度の成果	12品が審査委員会に出品され、新たに11品が認定されました。その他、市外で行われるイベントで「うすきの地もの」の販売を行いました。
------	-----------------------	--------	---

成果指標	指標名	新たに認証された臼杵ブランド認証品数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	臼杵市のブランド認証制度による特産品のブランド認証の数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	事業推進の根幹となるのは認証品のため	個	13.00	5.00	5.00	11.00	15.00

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	B	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	令和5年度は、12品が審査委員会に出品され、新たに11品が認定されました。				

事業の問題・課題	特産品のブランド化、地産地消の促進等地域産業の活性化を図るためには、ブランド認証品の売上額のさらなる向上が必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	戦略プランを策定し、より効果的な事業展開に取り組みます。
----------	--	------------------	------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	やや遅延	貢献度 小	見直し

事業の効果はありますが、施策への貢献度が小さいため、貢献度に応じたものになるよう事務事業を見直します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 7	産業観光課

事務事業名	企業立地促進事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-10-17	地場企業の育成・企業誘致	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	・地場企業の振興 ・企業誘致のあり方		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯)	市内外の企業を訪問し、企業の動向を確認しながら、必要に応じて企業立地促進条例に基づく補助事業について説明を行うなど企業の立地及び設備投資促進し、産業の振興及び雇用拡大を図ることを目的に助成措置を講じています。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	臼杵市企業立地促進条例に基づく助成金額	助成金交付実績額	千円	46,500	28,100	30,600	43,381	30,000
②	市内企業への訪問件数	市内企業訪問件数	社	70	63	79	95	100
③	市外企業への訪問件数	市外企業訪問件数	社	-	-	-	1	3
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	助成金の交付決定額					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	年度別の助成金の交付決定額(千円)				
	30,600	43,381	内容		コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	地方債			36,900	20,300	48,786	45,195	20,000

事業対象	市内中小企業	今年度の成果	市内企業へ訪問し、経営状況や設備投資に対する助成事業の説明を行いました。また、新規に3件の企業に対し企業立地促進条例に基づく助成を行い、設備投資への支援が図られました。				
------	--------	--------	--	--	--	--	--

成果指標	指標名	臼杵市企業立地促進条例に基づく助成企業数【累計】			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	延べ助成企業数				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	累計の助成件数を把握するため			件	18.00	19.00	21.00	24.00	26.00

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	6社(新規3社、継続3社)へ助成しており、設備投資を行う企業への支援が行われ、産業の振興が図られた。助成を受けるためには市民の雇用創出が必須となり、地場企業の強化と合わせて雇用の創出ができていないため、効率的な事務事業の執行が図られていると考えています。				

事業の問題・課題	新設は設備投資5,000万円以上、新規雇用3名以上(増設は設備投資2,700万円以上、新規雇用1名以上)という助成要件の性質上、事業者の多くが対象となる制度ではないため、本制度の周知が行き届きにくいと考えます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	市内にある既存企業の増設に対する助成が多く、市外から市内への新規企業の申請に対する助成が行えていないことが実績から確認できます。市内外を問わず、積極的な企業訪問により、本事業が市内の雇用拡大を目的としていることを企業に理解いただくとともに、本制度の周知を図っていきます。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	見直し
事業の効果はありますが、施策への貢献度が小さいため、貢献度に応じたものになるよう事務事業を見直します。			

白杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 8	産業観光課

事務事業名	サーラ・デ・うすき管理・運営事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化
	施策の課題(事務事業の実施目的)	サーラ・デ・うすきを活用した賑わい創出	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	サーラ・デ・うすきは、「白杵の台所」を基本コンセプトに「白杵の食」についての情報発信を行い、中心市街地の賑わい創出施設として、季節に応じた各種イベントの開催や装飾、特産品の販売などを行っています。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	白六オープンラボの利用者数	利用者数	人	244	262	230	167	200
②	つまみキッチンの利用者数	利用者数	人	377	597	669	629	650
③	市主催イベント回数	回数	回	3	9	9	9	10
④	他団体主催イベント回数	回数	回	30	19	31	56	40

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	来場者1名当たりのコスト				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	来場者数を事業費で除した1名当たりのコスト(円)			
	21,051	18,556	内容		コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源				430.6	457.2	278.6	301.5	218.3

事業対象	市民及び観光客	今年度の成果	新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあるものの競合となる他のイベントも多く開催されており、来場者数は前年度並みとなっています。
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	サーラ・デ・うすき来場者数				単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	来場者数					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	誰でも自由には入れる施設をコンセプトとしていることから上記指標としました。				人	43,089	40,580	66,595	61,545	85,000

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	B	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあるものの来場者数の増加には至っていません。来場者数の増加を目指して観光客に対するアプローチと市民に対するアプローチについて、検討が必要ではないかと考えます。				

事業の問題・課題	新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が解除されたが、白六オープンラボ・つまみキッチンの利用は引き続き低い水準となっています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	令和6年度からは、片町の蔵もサーラ・デ・うすきの施設となることからより一体的に連携を強化し、イベント等の実施を通して来場者数の増加に繋がります。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	やや遅延	貢献度 中	見直し
事業の効果はありますが、施策への貢献度が小さいため、貢献度に応じたものになるよう事務事業を見直します。			

番号	課名
E - 9	産業観光課

事務事業名	うすき竹宵事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市内の経済効果や地域の活性化に必要な事業であるが、主体的に活動する実行委員会の人材確保・育成に取り組み、次世代へ繋がる組織づくりが課題。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	市内中心部の二王座歴史の道や歴史文化的な景観などを竹ぼんぼりや趣向をこらしたオブジェが幽玄的に映し出す「うすき竹宵」は27年目を迎えました。秋の城下町に映し出される竹灯りは、大分県を代表する祭りとして、中心市街地の活性化はもとより観光産業全体への活力につながっています。5月に発会式を開催し、以降毎月実行委員会執行部会議を重ね、11月4日、5日の本番を迎えました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	うすき竹宵実行委員会の会員数	実行委員会会員数	人	128	128	136	137	140
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	うすき竹宵来場者1人あたりに係る費用					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	コスト/来場者数(うすき竹宵実行委員会調べ)				
	8,083	8,915	内容	補助金・委託料	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			-	231.5	86.9	91.9	90.0

事業対象	観光客、来訪者	今年度の成果	第27回(令和5年度)うすき竹宵は、竹ぼんぼり約2万本、オブジェ28か所、般若姫行列等を中心に実施できました。天候にも恵まれ、来客数は約9万7千人(うすき竹宵実行委員会調べ)となりました。
------	---------	--------	--

成果指標	指標名	うすき竹宵の来場者数(うすき竹宵実行委員会調べ)	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	開催エリアの来場者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	臼杵市を代表するイベントであるため来場者数を成果指標とする	万人	-	1	9.3	9.7	10

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	「うすき竹宵」は、臼杵市を代表するイベントであり、経済効果や地域の活性化に必要な不可欠なものになっています。多くの来場者により、開催期間中は地元の商店街などの地域活性化に効果があります。

事業の問題・課題	うすき竹宵実行委員会全体の会員数は維持していますが、主体となって活動する会員(特に若手)が不足しています。人材確保・育成に取り組み、次世代へ繋がる組織づくりが必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	うすき竹宵実行委員会を主体となって活動する会員の育成及び新規会員の募集や勧誘を行い、組織力の強化への取組を行います。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 10	産業観光課

事務事業名	(一社)臼杵市観光協会補助事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出
	施策の課題(事務事業の実施目的)	本事業は、観光客受入れのために(一社)臼杵市観光協会に対して各種事業を立案・実施するための活動に対し補助するものです。補助金額が増加傾向にあるため、事業の精査を行い費用対効果を意識した施策展開が必要です。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	本事業は、一般社団法人臼杵市観光協会が一人でも多くの観光客を誘致し市内を活性化させるために、本市ならではの旅行商品開発や魅力ある観光素材のPR活動などを行うための補助事業です。令和5年度は、アフターコロナ後のインバウンドを含めた観光客誘致のため観光庁補助金を利用した「USUKI VENUE」の商品開発に向けて実証を行い、旅行会社への営業活動を行いました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	旅行会社への営業件数	出張訪問先件数	件	—	—	40	84	80
②	(一社)臼杵市観光協会HPアクセス件数	(一社)臼杵市観光協会HPトップページアクセス件数	件	140,476	183,070	205,839	207,356	200,000
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	臼杵市補助割合				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	臼杵市補助額/(一社)臼杵市観光協会収入総額			
	39,877	31,132	内容	協会補助金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源		—	78.1	39.5	32.4	35.1

事業対象	観光客・旅行者	今年度の成果	旧臼杵藩主稲葉下屋敷を活用した「USUKI VENUE」の実証を行い高所得者層をターゲットとした旅行商品の営業活動を行うことができました。
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	各施設の入込数(石仏、下屋敷、吉丸、野上、サーラ)	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	1年間の各施設に訪れた観光客数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	事業実施による成果を定量的に確認できるため	人	92,100	92,390	134,071	139,003	269,700

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	本市の魅力を紹介できる「うすき祈りの回廊」の磨き上げ及び「USUKI VENUE」を造成するなど今までにない取り組みを行い、一定程度の自主財源の確保ができてきているものの更なる収益確保のための方策を検討する必要があるため。	

事業の問題・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により観光スタイルが大きく変化した中で新たな観光の見せ方が必要となっており、ターゲットに応じたイベント企画や情報発信を積極的に繰り広げる必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	・臼杵の歴史・食などをストーリー化した商品開発 ・海外メディアと連携した販路拡大 ・滞在時間を延長させるための仕組みづくり
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

白杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 11	産業観光課

事務事業名	白杵市観光交流プラザ管理運営事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	白杵市観光交流プラザの施設管理及び施設内の充実(各階フロアの利用推進・利用方法の検討等)	
	関連施策名 (施策コード)	-	-

事業内容 (経緯)	白杵市全体の魅力を発信する役割を担い、観光施設や市内のお店等へ案内・誘導する最初の場所として、また、市民も集い交流できるにぎわいの場所である白杵市観光交流プラザの管理運営を行っています。
--------------	---

行動指標 (実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
①	SNS等を使った情報発信数	Instagram、Facebookの書き込み数	回	81	134	64	50	60
②	貸館使用回数	観光交流プラザの会議室などの貸館の使用回数	回	412	501	501	548	600
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	来館者1人あたりに係る費用					
	前年度 (R4)	当該年度 (R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	コスト/来館者数					
	19,181	16,710	内容	運営費(委託料等)	コスト指標 (単位当たりの費用)	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般財源+その他収入			500.7	456.6	497.4	395.7	360.0

事業対象	観光客、来館者	今年度の成果	イベントや観光体験コンテンツの情報発信などSNS等を使ったPRを行ったことで、来館者数は新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にあります。
------	---------	--------	---

成果指標	指標名	白杵市観光交流プラザ来館者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	来館者数		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	白杵市全体の魅力を発信する施設であるため来館者数を成果指標とする		人	39,230	42,476	38,560	42,224

評価	有効性	効率性	評価の理由		
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	白杵市の観光総合案内窓口を担っています。地域観光資源の発表の場やギャラリー展示ができる貸館も充実しています。コロナ禍の影響により減少した来館者数の回復を図るため、SNSによるイベントや展示会等の情報発信を積極的に行い効率性の改善に努めます。		

事業の問題・課題	SNSに関しても発信するプラットフォーム毎にターゲットとそれに合う情報発信による効率的な告知を検討(一社)白杵市観光協会を中心に、関係機関との連携を深めた運営などの創意工夫が必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	1階、2階の展示ブースやギャラリーを広く活用してもらうとともに、SNS等により白杵市の観光情報のきめ細かな情報発信を行います。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 12	産業観光課

事務事業名	観光案内所等委託事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出
	施策の課題(事務事業の実施目的)	本事業は、観光施設の受付業務を委託するものです。外国人観光客への多言語対応など施設を利用された観光客の満足度が高まる施策が必要です。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	本市の玄関口である臼杵駅構内に観光案内所を設置し、観光客の利便性向上と観光の情報発信を行うとともに、稲葉家下屋敷・吉丸一昌記念館を含めた3施設の受付業務を一般社団法人臼杵市観光協会に委託しています。これにより、適正な人員数や勤務体制など運営の効率化を図りました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	外国人観光客の対応	外国人観光客の案内所訪問者数	人	9	1	122	570	1800
②	観光施設の周遊	観光施設の周遊券の販売枚数	枚	1067	563	789	639	1000
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	来訪者1人あたりに係る費用					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	コスト/来訪者				
	7,182	8,779	内容	委託料	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			-	-	685.2	801.9	555.0

事業対象	観光客及施設来訪者	今年度の成果	臼杵城跡ガイドツアーや畳櫓公開の見学に参加された方を稲葉家下屋敷に誘導する仕組み作りを行いました。また、吉丸記念館や中心市街地等で吉丸生誕150周年記念事業を開催し、誘客に繋がりました。
------	-----------	--------	---

成果指標	指標名	観光客の対応	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	3施設の来訪者数(JR臼杵駅・稲葉下屋敷・吉丸一昌記念館)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	業務の改善に結びつけ、より効果的で効率的なサービス(案内)に繋げるため	人	-	-	10,482	10,948	15,800

評価	有効性	効率性	評価の理由
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	より高い観光案内のサービスが行えるよう、定期的に施設職員との意見交換などに努めるとともに、稲葉家下屋敷及び吉丸一昌記念館で魅力あるイベント(企画展)などを開催し誘客を図ることが必要です。

事業の問題・課題	各施設ともに最小限のコストで運営していることもあり、人材不足が課題となっている。とりわけ多言語対応可能な人材の確保が難しい状況です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	コロナ5類移行後は観光客数も徐々に戻りつつあることから、今後は施設職員の更なる資質向上を図るなど運営に関する改善が必要です。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 13	農林振興課

事務事業名	臼杵市環境保全型農林振興公社運営支援補助事業				新規・継続・単年	継続					
					ソフト・ハード	ソフト					
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現								
	施策の課題(事務事業の実施目的)	循環型社会の構築及び環境負荷の軽減の推進									
	関連施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成								
事業内容(経緯)	公益社団法人臼杵市環境保全型農林振興公社の取り組む各種事業に対し、環境保全、土づくり、有機農業を目指す農家を支援することを目的に、補助金を交付しました。										
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)						
					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画		
	①	有機堆肥等散布面積	有機堆肥等散布	ha	39.3	32.5	36	30.2	31		
	②	うすき夢堆肥散布面積	うすき夢堆肥散布	ha	54	38.5	34	37.8	48		
	③	稲わら等梱包面積	稲わら等梱包	ha	14.5	14.5	15.3	16.7	16		
④	田畑耕起面積	田畑耕起	ha	6.4	6.4	8.3	7.5	8			
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	実施面積合計(ha)あたり					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	事業費(千円)/実施面積合計(ha)					
	15,036	11,668	内容	農林公社運営支援事業補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			131.6	163.6	160.6	126.6	144.5
事業対象	市内農家		今年度の成果	オペレーターや事務職員の配置により、農林公社の各種事業を円滑に実施することができました。							
成果指標	指標名	当期収支決算額			単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	説明・算式・引用	当期収支決算額				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	指標設定の理由	農作業受託事業 正味財産期末残高			円	1,881,281	6,125,565	8,272,673	10,553,736	100,000	
評価	有効性		効率性		評価の理由						
	A	A;期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A;効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	必要なオペレーターの数を確保することで、時間に余裕ができ安全面にも十分に配慮しつつ、農家の希望どおりの日程で事故無く作業ができます。臼杵市内の農地を熟知し、農協と共同出資している農林公社が各種事業を行うことでより効率的な作業ができます。						
事業の問題・課題	農家の減少などにより農作業受託等の収入は横這い傾向にあります。			目標達成に向け、次年度以降の取組	農業者の意向等を把握するとともに、農林振興公社の役割の検討を行います。						
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針						
	順調		貢献度 大		向上		施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。				

番号	課名
E - 14	農林振興課

事務事業名	経営所得安定対策等(直接支払)推進事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	水田農業における農業所得向上を図るために経営所得安定対策等の実施。国による同事業の厳格化に伴う交付金を活用した水田畑地化の推進と主食用米の作付転換推奨。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	国からの直接支払となる経営所得安定対策等事業に関する交付金手続や経営指導等に関する事務等を行う事業で、臼杵市農業再生協議会を主体として、市内の水田農業者の作付計画の収集管理、交付金を活用した主食用米から高収益作物への転換推進を進める取組を行っています。併せて経営所得安定対策等推進事業の対象者等の水田農業者の生産性向上や集落営農活動に資する機械導入補助事業も行い、水田農業者への更なる支援を図ります。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	地域農業再生協議会における規定の会合実施回数	協議会の幹事会・総会等の実施回数	回	5	5	6	6	4
②	「営農計画書」の配布・回収数	協議会把握の水田営農者数(作付の無い水田データ除く)	件	1,200	1,100	1,100	1050	1,100
③	活用推進(交付金や補正事業等)説明会等開催数	交付金や補正事業等の説明	回	1	1	1	5	1
④	事業交付金活用件数	交付金の申請種類ごと累計	数	85	85	79	72	90

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	経営所得安定対策等事業における事業活用件数一件当たりの平均交付金額					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	該年度の交付金額/経営所得安定対策等事業申請者				
	10,449	9,474	内容	水田農業者所得向上事業	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国費(一部のみ市費)			1,224,565	1,264,083	1,329,096	1,672,945	1,665,000

事業対象	水田・畑作(戦略作物)農家	今年度の成果	国の政策転換の影響と思われる農業者の規模縮小等による需要停滞等から交付金額、件数は伸び悩みましたが、加工用米に関する交付金額は前年比で、1,622万円増額となりました。中規模水田農業者への機械導入補助においては、集落営農組織や地域の担い手になど3件に対し、大型機器の導入支援等を行いました。
------	---------------	--------	---

成果指標	指標名	経営所得安定対策等交付金額			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	経営所得安定対策等交付金額				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	市内の水田農業者における経営所得安定対策等事業利用者への交付総額の推移で事業効果が把握できるため。			千円	104,089	107,448	104,999	120,452	110,000

評価	有効性	効率性	評価の理由		
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	経営所得安定対策関連交付金を有効活用した農業者所得の向上への取組みは、市内農業者の農業経営に貢献しています。一方で水田畑地化等事業等の国の事業方針転換への柔軟な対応、事務等の面で改善の余地があります。		

事業の問題・課題	国の事業方針転換から、交付金額や交付対象件数は減少していますが、引続き実施される国・県の転換推進関連の交付金等については、農業者所得の向上に繋がるように有効活用を図っていく必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	県や農協等の関係機関と定期的に情報交換会を行うことで農業者や地域等の情報を共有し、必要とされる対応やそれに対し活用できる交付金等を協議し、農業者に対し必要に応じた情報等の周知を行っていきます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 15	農林振興課

事務事業名	活力あふれる園芸産地整備事業(野菜対策)			新規・継続・単年	継続
				ソフト・ハード	ハード
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成		
	施策の課題(事務事業の実施目的)	農業担い手不足の解消、遊休農地の発生防止及び解消			
	関連施策名(施策コード)	-			

事業内容(経緯)	農村における高齢化や後継者不足により園芸品目の生産面積が減少していく中、農業の担い手である認定農業者の規模拡大や新規就農者確保のため、本事業を活用しハウス施設、省力化機械、集出荷施設等の整備を行いました。				
----------	--	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	補助対象農家数	受益農家戸数	戸	26	49	214	45	33
②	補助受益面積	受益栽培面積	ha	4	13	71	32	30
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	整備事業1件当たり				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	総事業費÷事業受益戸数(千円)			
	694,406	176,057	内容	園芸施設、機械等の整備	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国庫補助、県補助、市		9,383	3,206	4,038	3,912	2,733

事業対象	認定農業者、認定新規就農者	今年度の成果	いちご栽培に新規参入する企業の施設整備や、かんしょ栽培の規模を拡大する個人生産者が行う機械等整備を補助することで、産地全体の栽培面積の増加を図りました。				
------	---------------	--------	--	--	--	--	--

成果指標	指標名	推進品目の栽培面積			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	ピーマン、ニラ、いちご、甘藷、甘ネギの栽培面積				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由					98	100	102	116	104

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	意欲のある生産者に対し補助を行うことで、生産効率を上げ、栽培面積の拡大を支援することができました。				

事業の問題・課題	産地の規模を維持していくためには常に新規就農者を確保していくことが必要となります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	新規就農者に対する技術指導を手厚く行うことで、収益改善を図り、安定した農業経営が可能になるよう取り組みます。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 大	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 16	農林振興課

事務事業名	臼杵市茶産地育成事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	担い手不足の解消、遊休農地の発生防止及び解消	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	茶産地の育成及び販売額の向上を目指し、乗用型摘採機のリース導入に対して補助を行いました。				
----------	--	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	防霜施設整備面積の増加60ha(1期事業分)	茶園の霜害の解消面積	ha	64.1	64.1	66.6	66.6	66.6
②	遊休農地(畑)の未然防止99ha	茶園面積(遊休農地の未然防止面積分)	ha	87.9	89.4	89.4	89.6	89.6
③	省力化機械導入	乗用型茶園管理機等(累計)	台	9	10	10	11	11
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	省力化機械導入1台にかかるコスト				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	省力化機械導入に要したコスト/省力化機械導入台数			
	4,476	5,250	内容	補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県支出金			5,834	5,834	700	5,250	-

事業対象	農業者	今年度の成果	乗用型摘採機を導入することで効率的な作業体制の構築、省力化を進めることができました。本事業により、次期作以降の生産量の増加、品質の向上を図ることができます。
------	-----	--------	--

成果指標	指標名	産地化の確立105ha					単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	茶園面積(累計茶園面積)						R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	平成18年に(株)伊藤園、大分県、臼杵市ほか1市で締結した茶産地育成協定に基づき緑茶飲料原料茶の生産に取り組んでおり、茶園の面積拡大が産地化の確立に繋がります。					ha	93.60	95.10	95.10	96.40	96.40

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A;期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A;効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	乗用型摘採機の導入は、収益の7割程度が見込まれる1番茶の荒茶単価維持のためには有効で、茶園管理の省力化が図られます。また、本事業の実施により規模拡大、販売額の向上など投資以上の効果に期待ができます。				

事業の問題・課題	産地拡大を進める中で新たな茶工場の建設について検討が必要です。全国的にリーフ茶の需要は停滞傾向にあり、多様化する消費者のニーズに合わせた商品・事業展開が求められます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	・茶生産計画・生産施設更新計画・経営計画などの情報を生産者、県、市で共有 ・優良農地の確保 ・茶工場建設についての検討 ・多様化するお茶のニーズに合わせた新たな商品・事業展開の検討
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
E - 17	農林振興課

事務事業名	青年就農給付金事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	次世代を担う農業者となることを志向する就農希望者や新規就農者への資金の交付による必要な人材力の強化を図る。		
	関連施策名(施策コード)	IV-10-18	雇用の確保・就労支援	
			-	

事業内容(経緯)	農村地域が抱える担い手不足の解消を図るとともに、地域の担い手となる新規就農者の確保と営農の定着を図るため、就農から経営が安定するまでの間(独立自営就農時から最長5年間)資金を交付することによって、経営の支援を行うものです。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	新規就農相談会の開催(出展)回数	新規就農相談会の開催(出展)回数	階	4	2	2	2	9
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	青年就農給付金事業/新規就農者育成総合対策事業				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	新規就農者への資金の交付			
	80,539	70,792	内容	補助金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県支出金		-	-	-	-	-

事業対象	個人農家(独立自営就農時の年齢が50歳未満)	今年度の成果	資金を交付することによって、新規独立自営就農者の生活及び経営の安定化を図ることができ、担い手の確保と産地の形成に寄与することができました。
------	------------------------	--------	---

成果指標	指標名	法人等への雇用就農ではない新規独立自営就農者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	法人等への雇用就農ではない新規独立自営就農者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	次世代を担う農業者の育成・確保に向けた人材の確保	人	13	16	5	1	10

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	資金の交付によって、新規就農者を確保し、定着することができ、技術や資金面から発生する新規就農者の経営(離農)リスクを抑えることができました。

事業の問題・課題	資金交付の要件として、対象者が「耕作地域における今後の農業担い手」として位置づけられる必要があり、地域として新規就農者を受け入れ支援していく機運の醸成や、地域との良好な関係性の構築が必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	新規就農者の農地の確保及び住宅の確保のため、移住支援担当課と連携した支援を行っていきます。また、新規就農者が就農後も継続的に支援を得られる地元の生産者とのマッチングを重要視し、支援していきます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
E - 18	農林振興課

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	遊休農地の発生防止及び解消、農業や農地の管理保全。	
	関連施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成

事業内容(経緯)	農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図るために、地域の共同活動(水路・農道の維持管理等)に係る支援を行うものです。活動は大きく「農地維持支払交付金」(農道の草刈・水路の泥上げ等)と「資源向上支払交付金」(水路・農道・ため池の軽微な補修等)の2つから構成され、令和5年度は45組織が活動に取り組みました。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	活動組織への説明会開催回数	実績報告や活動内容についての説明会開催回数	回	4	4	4	3	3
②	事業の周知	未取組地区への事業内容等の広報件数	回	1	1	1	1	1
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	農用地の面積に対する事業費					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	総事業費(千円)÷事業対象農用地(ha)				
	28,536	28,862	内容	補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県支出金			46	47	44	45	-

事業対象	農地・農業用施設の保全管理を行う活動組織	今年度の成果	既に取り組みをしている45組織において、活動を計画どおり行い、地域の農地維持・景観形成が図られました。				
------	----------------------	--------	---	--	--	--	--

成果指標	指標名	協定農用地面積	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	交付金の算定根拠となる農用地の面積		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	農用地、農業用施設の保全管理がこの事業の目的のため		ha	733	718	642	640

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	農用地や、農業用施設の維持・保全管理に有効で周辺環境の整備など環境保全活動にも貢献している。また集落活動の活性化にも効果的である。				

事業の問題・課題	活動組織の高齢化等により、事務処理の手続きや農用地の保全活動が困難になりつつある。また、農地の保全管理をする農業後継者の不足が問題となっている。	目標達成に向け、次年度以降の取組	農村環境の維持・保全のために多くの地区がこの事業に取り組めるように説明会等を実施する。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 19	農林振興課

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	中山間地域での集落単位での耕作放棄地発生防止対策		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯)	中山間地域の農地の保全と水源涵養を目的として、集落での農地の管理・維持を行う計画を基に協定を締結し、面積と活動内容に応じた交付金を交付します。第5期対策として、令和6年度までの5年間実施され、令和5年度は4年目です。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	集落協定数	協定を締結する集落数	箇所	16	16	18	18	18
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	単位面積当たりの交付金				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	交付金(千円)÷面積(ha)			
	15,809	15,746	内容	協定集落への交付金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国庫1/2.県1/4.市1/4		141.8	142.2	136.3	135.1	131.5

事業対象	集落協定の対象農用地及び協定参加者	今年度の成果	協定に基づく活動により、対象農用地と関連施設(農道・水路)等が適切な管理され、耕作放棄地の発生が抑制されました。
------	-------------------	--------	--

成果指標	指標名	協定集落の交付金対象となる農用地の面積	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	傾斜度 水田1/100以上、畑8°以上の農用地		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	事業の目的として農地の維持・管理としているため。	ha	112.0	110.0	116.0	116.0	115.0

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	対象農用地の維持・管理や関連施設の管理が計画的に実施され、周辺環境の整備等の環境保全活動も行われており、集落での耕作放棄地発生の抑止に効果を発揮しています。また、集落活動の活性化にも寄与しています。

事業の問題・課題	高齢化等により、集落のリーダーと担い手不足が深刻になっています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	来年度は最終年度となり、集落戦略を作成した集落においては、次期対策への取り組みを視野に集落活動の推進を行います。
----------	----------------------------------	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 20	農林振興課

事務事業名	土づくりセンター管理・運営事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-20	「有機の里うすき」の実現
	施策の課題(事務事業の実施目的)	自然環境に配慮した地域内資源を活用した堆肥製造を行うとともに、持続可能な農業振興を図るため。	
	関連施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進

事業内容(経緯)	安全で美味しい農産物の供給に向け、自然環境にも配慮した持続可能な農業を確立するため、土づくりセンターを核とした「うすき夢堆肥」による「土づくり」に重点を置いた農産物の生産振興を推進しています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	「うすき夢堆肥」の年間製造量	「うすき夢堆肥」の年間製造量	t	1,795	1,801	1,787	1,675	1,800
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	「うすき夢堆肥」の年間販売額					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	「うすき夢堆肥」の年間販売額				
	70,399	76,608	内容	土づくりセンター運営管理費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般会計財源			10,234	8,683	7,963	7,451	10,000

事業対象	臼杵市民	今年度の成果	堆肥原料(豚糞)について新たな事業者から供給が開始され、また、ふるさと納税を活用した設備更新により安定生産の向上に努めました。しかし、7月末の落雷被災により復旧に1カ月ほど要したため堆肥生産量が落ち込みました。
------	------	--------	---

成果指標	指標名	「うすき夢堆肥」の年間販売額					単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	「うすき夢堆肥」の年間販売額						R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	「うすき夢堆肥」の安定生産による農家への安定供給					t	1,826	1,471	1,328	1,242	1,650

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	「うすき夢堆肥」による土づくりに重点を置いた土づくりセンターを核とした農業振興に取り組んでいます。また当施設は環境にも配慮した草木類等、地域内資源を活用し堆肥製造は行っており、循環型社会の一役を担う施設にもなっています。

事業の問題・課題	当センターも開設より10年以上が経過し、堆肥製造に必要な機械等が老朽化や耐用年数超過による故障が増えている。大型機械等の主要部品取替や更新時期がきており、今後の施設維持に係る経費は増加が見込まれる	目標達成に向け、次年度以降の取組	堆肥の安定生産と安定供給を行うために、施設内で稼働している設備(大型機械、重機等)のメンテナンスによる長寿命化に努めるとともに、設備の計画的な部品取替工事や設備更新に努めます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
E - 21	農林振興課

事務事業名	森林整備事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-20-48	多様で健全な森林への誘導	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	森林の多面的機能の維持・増進のための森林整備面積の拡大促進		
	関連施策名(施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進	

事業内容(経緯) 森林は大切な資源であると認識していることから、森林が持つ多面的機能(国土の保全、水源涵養、地球温暖化防止、木材生産等)が発揮できるよう、臼杵市森林整備計画に基づきながら森林整備を進めています。現在、林業従事者の高齢化や後継者不足により、森林の整備が行き届いておらず、土壌が失われ土砂崩れが起こりやすい森林が増加していることが課題となっています。森林の公益的機能が発揮できるよう、森林組合等と連携しながら森林整備を検討し進めています。

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	森林経営計画の推進	臼杵市森林整備計画に基づく森林経営者への経営計画作成推進面積	ha	5317.88	5563	5680.85	5712.47	-
②	臼杵市有林の整備	森林の多面的機能の維持・増進のための森林整備面積	ha	42	11	22.95	22.95	-
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市有林整備における総事業費					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費額				
	6,694	3,629	内容	市有林整備	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			18,337	3,280	6,694	3,629	-

事業対象 森林経営者 今年度の成果 森林経営計画の作成推進において、民間の協力により31.62haの合意形成を得られました。

成果指標	指標名	森林経営計画の認定面積増加			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	森林経営計画認定面積				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	森林が持つ多面的な機能を保ち、土砂崩れが起きにくくするため、森林整備は必要です。			ha	5,317.88	5,563.00	5,680.85	5,712.47	-

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	森林所有者の高齢化が進み、個人での森林経営や管理を行うことが非常に困難となっており、今後、効率的な森林経営や管理を行うためには森林所有者と林業事業者等が連携して森林施業を推進していく必要があります。				

事業の問題・課題 担い手不足や素材生産業者の人員確保に早急に努める必要があります。 目標達成に向け、次年度以降の取組 臼杵市森林整備計画に基づき、効率的な森林整備に繋げていき、林業就業希望者への研修や林業事業者への職場環境改善に向けた助成などにより、人員確保に努めます。

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
E - 22	農林振興課

事務事業名	竹林整備事業			新規・継続・単年	継続					
				ソフト・ハード	ソフト					
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成							
	施策の課題(事務事業の実施目的)	荒廃竹林対策及び竹材、筍生産								
	関連施策名(施策コード)	-								
事業内容(経緯)	臼杵市には広大な竹林がありますが、現在その大部分が荒廃竹林として人の手のつかない状況となっています。一度荒廃した竹林を整備することは難しい上に他の土地に侵食し竹林の規模は大きくなり、状況は悪化していくばかりです。このような状況を改善するために、補助事業を活用し整備を行い筍採取等竹林を有効利用できる状態にします。									
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	①	竹林再生面積	1年間の施業面積	ha	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	②									
	③									
	④									
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	整備地区				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	1年間の施業箇所数				
	1,293	2,547	内容	竹林整備	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県支出金		2	2	2	4	-
事業対象	森林(竹林)所有者		今年度の成果	荒廃竹林整備を継続し、森林の多面的機能の維持及び筍生産に繋がるように実施しました。						
成果指標	指標名	荒廃竹林整備面積			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	荒廃竹林の場所を選定、面積を測量し、選定場所の伐竹本数を計算して整備。				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	個人で所有している荒廃竹林が増えており、竹林の保全に向け整備が必要です。				0.87	0.97	0.76	2.11	2
評価	有効性		効率性		評価の理由					
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	竹林整備を行うことにより、林内環境が改善され、筍の収穫がしやすくなり、竹林維持に対する所有者のモチベーションを高めることが出来ています。					
事業の問題・課題	竹林整備を実施した場所においては、筍の収穫時期にイノシシによる被害が想定されるため、竹林整備後の今後の対策が必要となります。			目標達成に向け、次年度以降の取組	竹林整備後、筍の収穫が確保できるよう、獣害対策の助成制度(電気柵購入補助)の周知や、伐採した竹でイノシシ等の侵入防止ができるよう整えます。					
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針					
	順調		貢献度 大		向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。					

番号	課名
E - 23	農林振興課

事務事業名	未整備林整備促進事業				新規・継続・単年		継続				
					ソフト・ハード		ソフト				
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-20-48	多様で健全な森林への誘導								
	施策の課題(事務事業の実施目的)	森林の多面的機能の維持・増進のための森林整備面積の拡大促進									
	関連施策名(施策コード)	VII-20-47	CO2削減に向けたまちづくりの推進								
事業内容(経緯)	平成31年4月、林業の成長産業化と森林の適正な管理を推進することを目的とし「森林経営管理法」が施行されました。臼杵市では、市内の未整備森林を把握し、優先順位を付けながら一定の面的なまとまりをもったエリアを設定し、森林所有者の意向調査を行った上で権利設定を行い、林業事業体と検討・準備を進め、未整備森林の解消に努めています。										
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用		単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	①	未整備森林の整備	未整備森林の森林所有者へ意向調査を実施し、森林整備の推進を図る。		ha	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	②										
	③										
	④										
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名		未整備森林境界確定				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用		境界明確化事業費				
	27,530	24,637	内容	森林整備総合対策事業	数値の推移		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源	コスト指標(単位当たりの費用)		-	1,309	9,917	2,970	-
事業対象	未整備森林所有者		今年度の成果	未整備森林において、森林所有者から合意が取得協定締結を行い、34.50haの未整備森林を整備することができました。また、臼杵川上流の東神野地区において、境界明確化事業を実施し、森林整備に繋がるよう取り組むことができました。							
成果指標	指標名	未整備森林整備			単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	説明・算式・引用	未整備な森林に対し森林整備ができた面積				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	指標設定の理由	森林経営管理法に基づいた未整備な森林整備を調査し、整備を図る。			ha	12	10	28	35	80	
評価	有効性		効率性		評価の理由						
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	未整備森林に対する森林整備であるので、切捨間伐の実施及び台風時に発生した倒木の撤去が可能となるので、良好な森林となる効果が得られました。						
事業の問題・課題	市内の未整備森林について、各森林所有者の境界が明確になっていないのが現状です。森林境界が明確にならないと事業が進まないため、森林所有者の探索をしなければならず、事業地確保が厳しくなっています。			目標達成に向け、次年度以降の取組	未整備森林の管理境界を明確化できるように、森林環境譲与税を活用して、林業関係者及び団体に境界調査を依頼できるよう体制を整え、森林整備に繋げていくようにします。						
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針						
	概ね順調		貢献度 中		向上		施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。				

番号	課名
E - 24	農林振興課

事務事業名	農業用施設整備工事	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	担い手不足の解消、遊休農地の発生防止及び解消	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	農業用施設(農道・用排水路・ため池・頭首工等)の整備、修繕等を地元要望により実施し、今年度は17箇所の整備・修繕を行いました。			
----------	---	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画				
	①	工事件数	整備・修繕等の工事件数	件	18	17	12	17	20
	②								
	③								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	総事業費 1件当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度実施事業費÷工事実施件数				
	6,580	19,000	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源、地元分担金			277	520	548	1,117	550

事業対象	農業従事者	今年度の成果	整備・修繕等の工事により農業用施設の機能が改善され、農業者の維持管理労力の軽減につながります。
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	単年度事業進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	単年度実施事業費÷単年度事業費		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	農業施設工事の単年度予算額を単年度実施事業費で計算することにより率を算出し成果としました。		%	99.8	98.2	73.1	99.9

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	工事の実施により、維持管理労力の軽減と農業生産の安定・向上が図られます。				

事業の問題・課題	農業用施設の老朽化が進み、各地区からの要望箇所が多く、要望を頂いてから事業着手までに時間を要しています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	要望箇所を再調査し、緊急性・必要性が高い箇所を選定して、1地区でも多く事業できるようにします。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 25	農林振興課

事務事業名	農業体質強化基盤整備促進事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	担い手不足の解消、遊休農地の発生防止及び解消	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	農地・農業水利施設(3地区)の整備を実施しました。 ①田城地区:水田を畑地として利用するための整備 計画面積:6.2ha 事業期間:R3~R6 ②乙見地区:用水施設整備(パイプライン化) 計画延長:L=1,657m 事業期間:R4~R5 ③搔懐地区:用水施設整備(用水路整備) 計画延長:L=204m 事業期間:R5~R6				
----------	--	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	田城地区 実施面積	畑地化整備面積	ha	-	1.3	1.9	1.9	1.1
②	乙見地区 実施延長	パイプラインの施工延長	m	-	-	-	1,657	-
③	搔懐地区 実施延長	用水路整備の施工延長	m	-	-	-	-	204
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	総事業費 1㎡当たりの費用(千円)				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	単年度総事業費/単年度総整備面積			
	74,000	114,380	内容	委託料、工事請負費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県支出金、地方債、一般財源		-	0.2	1.5	1.5	1.0

事業対象	農家及び新規就農者	今年度の成果	①畑地化整備 1.9ha完了 ②パイプライン整備 L=1,657m完了 ③用水路整備 測量設計完了
------	-----------	--------	---

成果指標	指標名	事業進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	累計事業費/総事業費		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	3地区の事業評価が行なえるように、成果指標を設定しています		%	-	1	32	81

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	農地や農業水利施設を整備することにより、圃場の確保や維持管理労力の軽減が図られ、農業の基盤を整備を行うことが重要となるため。	

事業の問題・課題	農作業に極力支障のないように、工事を実施する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	関係者と連携をとりながら、工事がスムーズに進捗できるように取組みます。
----------	--------------------------------	------------------	-------------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
E - 26	農林振興課

事務事業名	農林業用施設改良資材費(生コンクリート)支給事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-11-19	農林業の経営基盤強化と担い手育成
	施策の課題(事務事業の実施目的)	担い手不足の解消、遊林農地の発生防止及び解消、有害鳥獣被害対策、山林・竹林の再生	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	農道・林道・農林業施設の整備、補修を各地区において実施する場合に、原材料(生コンクリート等)の支給申請書を提出してもらい資材の支給を行うもので、99地区に資材を支給し施設の整備、補修を行いました。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	申請地区数	支給申請書提出地区	地区	97	91	97	99	100
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1地区あたりの原材料支給額(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	総事業費/支給した地区数				
	21,125	22,961	内容	原材料費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			226	244	218	232	232

事業対象	農林業従事者	今年度の成果	公共工事の及ばない道路、農林業施設等の整備を行うことができました。
------	--------	--------	-----------------------------------

成果指標	指標名	申請地区に対する支給率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	申請地区/実際に支給した地区数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	申請に来られた全地区に支給できるように設定しています。		%	100	100	100	100

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	公共工事の及ばない道路、農林業施設等の整備に資材支給することで、地区内の農林業施設が整備され利便性が向上し、工事に係る諸経費が削減できています。	

事業の問題・課題	農村地域の後継者不足や高齢化により、原材料支給での農林業用施設を整備することが困難になると考えられます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	引き続き、農林業用施設補修の事業化の検討を行います。
----------	--	------------------	----------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
E - 27	農林振興課

事務事業名	危険ため池整備(廃止)事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備
	施策の課題(事務事業の実施目的)	地震や風水害による決壊を防ぐためのため池のハード・ソフト対策	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	将来的な農業利用等が見込めず、決壊のおそれのある道里ため池(田井地区)を廃止する事業を実施しました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画				
	①	ため池の廃止工事完了箇所【累計】	ため池廃止箇所 廃止工事が完了した箇所	ヶ所	1	3	3	3	3
	②								
	③								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	廃止工事の1箇所あたり(万円/1箇所) ※施工年度のみ掲載				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	廃止工事の1箇所あたりの工事費			
	-	6,655	内容	委託料	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県支出金		1,042	605	-	-	-

事業対象	地域住民	今年度の成果	決壊のおそれのある道里ため池を廃止するため、測量設計業務を行い、廃止に向けての工法を決定しました。
------	------	--------	---

成果指標	指標名	事業費による事業進捗率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	累計事業費/総事業費(廃止ため池全4箇所工事完了見込額)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	事業には、工事費以外の、測量や設計等の工程もあるため、事業の進捗を測るためには、事業費によるものが適切であるため	%	24.3	44.6	44.6	57.8	76.2

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	将来的な農業利用等が見込めず、決壊のおそれのあるため池を廃止し、ため池下流で生活している市民・家屋等の安全を確保することが出来ます。	

事業の問題・課題	現在使用していないため池については、耕作者や地権者が不明なことが多く、工事で必要な作業用道路の整備のための用地の調整に時間を要します。	目標達成に向け、次年度以降の取組	地元区長、水利組合等と協力し、スムーズに工事が進捗できるようにします。
----------	---	------------------	-------------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。